

4月行事予定表

1	金	生け花教室・民児協定例会 健康づくり推進員会総会
2	土	まち中歩き・3B 体操教室
3	日	
4	月	詩吟教室
5	火	ハーダンガー刺繍教室 実用ペン習字教室
6	水	写真教室・ヨーガ教室
7	木	白もくれんの会・ウクレレ教室
8	金	着付教室
9	土	大正琴教室・3B 体操教室 せんきょうプラモデル部・体育会総会
10	日	茶道教室
11	月	古典教室
12	火	茶道教室
13	水	すみれコーラス
14	木	白もくれんの会
15	金	生け花教室
16	土	3B 体操教室
17	日	
18	月	詩吟教室
19	火	ハーダンガー刺繍教室 実用ペン習字教室
20	水	ヨーガ教室
21	木	白もくれんの会・ウクレレ教室
22	金	着付教室
23	土	まち中歩き・大正琴教室 3B 体操教室・4 団体合同総会
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	すみれコーラス
28	木	白もくれんの会
29	金	
30	土	

※日程は変更となる場合がございます。

遷喬地区公民館だより 4月号

令和4年4月1日発行 第241号

発行：遷喬地区公民館
鳥取市本町1丁目109
TEL 27-8562 / FAX 27-8566
<http://chiiki.city.tottori.tttori.jp/senkyo-1>

<新年度のご挨拶>

花の便りに心を弾ませる季節になりました、地域の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年度は、二年続きの新型コロナウイルス感染症の影響で満足のいく事業の取り組みができませんでした。また、地域の皆様には、感染症予防対策のため公民館の使用制限等が生じ、利用しづらい思いをされたことと深くお詫びいたします。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が終息することを願いつつ、「趣味の教室」の充実や地域課題の解決につながる講座の開催を目指し、生涯学習の拠点施設として各種事業の充実を図りたいと思います。今後とも、地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

遷喬地区公民館 館長 筧 一郎
主任 竹内裕治
主事 前田由紀子
主事 河村智美

令和4年度 人権推進員募集中

“見つけよう！あなたと私の良いところ”
～ぬくもりメッセージ2020～

遷喬地区人権教育推進協議会では、あらゆる差別や偏見をなくし、人権が相互に尊重されるあたたかな人間関係の中で、安心して暮らすことができる社会の実現を目指しています。推進員となって、様々な人権問題解決人権問題解消に向け、日常生活に生かせる人権感覚を一緒に磨きませんか。

遷喬地区人権教育推進協議会 会長 加嶋辰史

お問い合わせ 公民館 河村まで

予告

『遷喬プラモデル部』始動！

令和4年度より新しく

公民館趣味の教室『遷喬プラモデル部』

部長 中川さん

が始まります。

☆ 久しぶりにプラモデルをつくりませんか

☆ 大人が対象です

☆ 製作キット、工具は各自で用意

※日程や内容の詳細は、公民館だより5月号でお知らせいたします。

3月18日第75回目の卒業生16名が、遷喬小学校を巣立って行きました。おめでとうございます！この子たちの未来が明るく希望に満ちたものでありますように。



卒業生より、心のこもった手作りのティッシュカバーをいただきました。大切に使用させていただきます。ありがとう！！



3/10 (木)

ガラスアートで作るバラのスタンドミラー

講師：アトリエ dollie 関みどりさん
スタンドグラス調の雰囲気の手軽に楽しめるガラスアート。バラの花のフィルムとリード線の色を好みで選んで仕上げると、世界で一つだけのスタンドミラーが出来上がりです。春が来ましたよ！



人権教育推進協議会勉強会 3/12(土)福祉文化会館にて



今年度は小地域座談会の内容を変更して、勉強会を開催しました。
講師は、鳥取赤十字病院在籍の木下敬一郎氏。
テーマは『医療現場の検査方法と実態』。
2020年に始まったコロナ禍での、最前線の検査方法とご苦労についてお話しいただきました。



3年生総合学習「公民館の仕事と役割」について教えてください。



3年の教室と公民館を繋いでリモート学習を行いました。どちらも緊張しながら((笑))の対面でした。

その後、お礼のビデオレターが届きました。



第3回 学校運営協議会報告

【参加者】学校運営協議会会長：桶谷 靖志さん、副会長：大畠 順恵さん
委員：牧浦 康寛さん、橋尾 泰博さん、才津 節子さん、垣屋 絹子さん、笥 一郎さん
地域コーディネーター：竹内 裕治さん
学校：藤原 祥子校長、児島 浩二教頭、長石 佳子教務主任

令和3年度第3回学校運営協議会を3月3日に開催した。11名が参加した。
まず、校長・会長より開会あいさつがあった。校長からは、1年前は不慣れだったオンラインが定着してきて、工夫しながら活動を行うことができていると報告があった。また、地域での学習も充実しており、教員は地域貢献への意識が高まると同時に、地域の方々のおかげで授業に注力できていることも紹介された。
続いて、今年度の取り組みについて教頭・教務主任より報告があった。基本方針を共有する場の設定に関して、学校カフェ・ボランティアとの交流は感染のため実施できなかったが、2回の学校運営協議会において、目指す児童の姿（児童主体の形）を認識し、地域の力を生かすための熟議を重ねることはできた。地域の安心・安全の体制づくりに関しては、交通安全指導や見守りをお願いできる体制がかなり整ったので、今後は組織的な動きの確立を目指す。ふるさとキャリア教育・地域貢献活動に関しては、各学年の活動報告と、地域の方が一緒にして下さったことをうれしく思っている児童の感想などが紹介された。教育課程に関しては、GIGA スクールの取り組みについて報告された。タブレットを存分に活用し、意見交換、久世遷喬小学校児童とのリモート交流、家庭に持ち帰っての利用など、着実に浸透・定着していることがわかった。

今回の協議のテーマは、学校評価についてと、令和4年度の方向性についてであった。
学校評価に関しては、児童アンケートにおいて、学校・仲間・地域について肯定的な評価が90-100%と非常に高かった。この数字に関して、むしろ高すぎはしないかという意見もあった。好奇心を育み個性を伸ばすべき年代なら、もう少し意見にばらつきがあってもよいと思うので、この数字の解釈は難しい。「かしこく」「たたく」という目標を概ね達成できているが、それが自分自身の事として落とし込めているかどうかについて評価する必要がある、ということが考察された。メディア利用を含めた生活習慣については達成度が低く、毎年の課題となっている。

令和4年度の方向性について意見を交わした。児童の日常の様子を見ると、すでになりに主体的に活動できており、教員・保護者の努力がうかがえるという意見があった。しかし、まだまだ児童の主体性は伸ばすことができると期待でき、また自発的な発想・行動・創意工夫がまだ十分とは言えない。そこで来年度は、児童一人ひとりが自分自身の事としてしっかり受け止め、その上で主体的活動ができる学習集団を目指していきたい。また、改めてコミュニティ・スクールとは何か、それは児童を中心におき、学校・家庭・地域が様々な方向から活動し、それが一体となって協働的活動をすることであるということを再確認し、来年度は一体的推進を目標にしたいということを共有した。そのために有効とされる、担当コーディネーターの設置や学校・家庭・地域の役割分担の明確化なども進めていくことが望まれる。
短時間ではあったが、以上のような方針の共有・協議を行うことで、今年度の学校運営協議会を締めくくり、次年度に引き継いだ。